

社協 なると

社会福祉協議会広報誌 第17号

発行 / 社会福祉法人 鳴門市社会福祉協議会
〒772-0003 鳴門市撫養町南浜字東浜 24 番地 2
鳴門市健康福祉交流センター2F
TEL : 088-685-7170 FAX:088-686-4059
HP : <http://www.narutoshi-shakyo.com>



認知症サポーター養成講座



公用車貸出（トヨタハイエース）



赤い羽根共同募金 街頭募金



市老連囲碁ボール大会

もくじ

- ▶ 第30回鳴門市老連囲碁ボール大会 ②
- ▶ 公用車貸出事業 ②
- ▶ 鳴門市地区社協会長会開催 ②
- ▶ 認知症の方への理解を深める普及啓発活動 ③
- ▶ 赤い羽根共同募金・歳末助け合い募金について ④

第30回鳴門市老連囲碁ボール大会

令和2年10月20日(火)に、鳴門市健康福祉交流センター3階大会議室において、「第30回鳴門市老連囲碁ボール大会」が開催されました。

今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小しての開催となりました。

当日は、8団体約40名の参加があり、和気あいあいとした雰囲気の中で競技を行いました。競技が進行するに従い、大きな歓声と声援が響き渡りました。

競技の結果、里浦長寿会が優勝、鳴南さくら会が準優勝、黒崎和朗会が敗者復活1位、木津神第二明和会が敗者復活2位となり、盛会裏に大会を終えることができました。多数のご参加ありがとうございました。

公用車貸出事業

本会会員や地域のために活動する団体の皆さんが実施する地域福祉活動を支援するため、公用車の貸出し事業を行っています。

■車 両

10人乗りワゴン車(トヨタハイエース)

※車いす対応車両ではありません。

■対象団体

本会会員団体(地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、老人クラブ、福祉施設など)、または、地域福祉推進を目的とした団体(自治振興会、自主防災会など)

■対象となる活動

研修会や会議への出席、催し物への参加、高齢者の外出や買い物支援など、地域福祉に関する活動。

■期 間

平日、午前8時30分〜午後5時15分の間で、日帰りに限ります。(特別な事情がある場合はご相談下さい。)

■利用料

無料(ただし、燃料代、有料道路通行料についてはご負担いただきます。)

■保 険

対人、対物、搭乗者傷害の任意保険は加入済みです。(乗車中以外のケガなどについては、ボランティア保険をご案内します。)

■申し込み

規程をお読みいただいた上で、利用申込書に必要事項を記入して、利用を希望する日の1か月前から2営業日前までにお申し込み下さい。規程および利用申込書は事務局に用意しています。また本会ホームページにも掲載しています。



鳴門市地区社会福祉協議会会長会

令和2年11月13日(金)、各地区の活動報告や情報交換を行い、それぞれの地域活動に役立ててもらえるよう各地区社協の会長に集まっていただきました。

会では、高齢者への配食サービスをはじめとして、高齢者の生活支援として地域の農産物等を販売する場を設けたり、子ども食堂の運営支援、学校やPTAとともに行う防犯パトロールなど、地域での取り組みが紹介されました。

今年は新型コロナウイルス感染症の影響で普段の活動が出来ないとの報告もありましたが、高齢者との交流事業を会食から弁当の配付にするなど、工夫して実施した地区もありました。また、地区社協だけでなく自治振興会、老人会や婦人会、またPTAや子ども会など様々な団体と協働で事業に取り組んでいることも報告されました。

今後は、定期的に地域での活動を報告し合い、情報共有を図るとともに、市社協からも活動のアイデアや参考となる事例について提案していくことで地区社協の活性化を図って参ります。

地区社協の活動を盛り上げるためには地域の方々のご協力は欠かすことが出来ません。これまで同様、皆さまの積極的な参加をよろしく願いたします。

認知症とともに暮らそうこのまちで



申し込み・問い合わせ先
鳴門市基幹型地域包括支援センター
☎ 088-615-1417

- ① 認知症を理解する
 - ② 認知症の人と接するときの心構えを知る
 - ③ 認知症サポーターの役割を知る
- どなたでも認知症の方の助けになることができます。みんなで認知症高齢者等にやさしい地域をつくっていきましょう。
- 『認知症サポーター養成講座』は少人数での開催も可能ですので、お気軽にお問い合わせ下さい。

認知症の方への理解を深める 普及啓発活動

認知症サポーター養成講座開催

令和2年9月29日(火)、鳴門市健康福祉交流センターにおいて、24名の方を対象に次の3つをテーマとして『認知症サポーター養成講座』を開催し、学びを深めていただきました。

認知症啓発に関する川柳

令和2年9月1日から22日までの間、認知症啓発に関する川柳を募集したところ、市内外から125点の応募がありました。たくさんのご応募、ありがとうございます。
ご応募頂いた作品の中から、投票により優秀作品が決定しました。優秀作品については、今後の普及啓発活動に活用させて頂きます。

- ・ 忘れても その手のぬくもりは かわらない
(鳴門市 ぶんぶん様)
- ・ 思い出を 忘れたのなら もう一度
(徳島市 MSR様)
- ・ 忘れても 寄り添ってたい いつまでも
(鳴門市 あやしちゃん様)

認知症街頭啓発



令和2年10月3日・4日、第73回鳴門市展覧会コーナーにて、認知症地域支援推進員による認知症啓発活動を行いました。当日は、鳴門市認知症高齢者等SOSネットワークについてのパンフレット配布やメール登録会、認知症啓発パネルの展示、認知症クイズコーナー等を設置しました。
来場者からは「ウェブに疎いので対面で話を聞けて良かった」「知っているようで知らない

認知症啓発に関するイラストが決定！

令和2年6月15日～7月31日にかけて認知症啓発に関するイラストを募集したところ、30点の応募があり、認知症地域支援推進員による審査の結果、佐藤美和さん(鳴門市撫養町)の作品に決定しました。

イラストの背景には鳴門市の花「ハマボウ」が描かれています。ハートは市民の手をイメージしており、認知症高齢者等を包み込む様子を表現しています。



かった現状を知ることができた」等の声をいただきました。
これからも、認知症高齢者等にやさしい地域づくりに取り組んでいきます。





赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金 に皆様のご協力をお願いいたします

共同募金運動は、戦後間もない昭和22年に始まって以来、今回で74回目を迎えております。皆様
の温かいご支援・ご協力により、今年も10月1日から「つながりをたやさない社会づくり～あなたは
一人じゃない～」を全国共通助成テーマに設定して運動を展開しておりますので、皆様方のなお一層の
ご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。皆様からお寄せいただいた寄付金は、徳島県共同募金会
を通じて、徳島県内の民間福祉施設や社会福祉協議会に配分され、ひとり暮らしや寝たきりのお年寄り、
障がいのある人や子供たちが安心して生活できるように、地域の様々な福祉活動に役立てられます。
この趣旨をご理解いただき、地域の皆様の共同募金への温かいご支援とご協力をお願いいたします。

共同募金は計画募金

共同募金は、運動の前に県内の社会福祉施設や社会福祉・ボランティア団体等からの助成要望を取り
まとめ、使いみちの計画（配分計画）を立ててから募金を行う「計画募金」です。この配分計画をもと
にした募金目標に向けて運動が行われます。

鳴門市支部の募金運動計画

- ◇ 地域募金・・・ ボランティアの皆さんが、町内会を通じて各世帯に呼びかけます。
- ◇ 街頭募金・・・ 街角や人の集まる場所（店舗前など）で募金を呼びかけます。
- ◇ バッジ募金・・・ 関係団体や官公庁、福祉施設等の職員に呼びかけます。
- ◇ 法人募金・・・ ボランティアの皆さんが、企業を訪問して寄付を依頼します。
- ◇ 歳末たすけあい募金・・・ 関係団体を中心に呼びかけます。

※歳末たすけあい運動は共同募金運動の一環で、新たな年を迎える時期に支援を必要とする人たちが地域
で安心して暮らすことができるよう、住民の参加や理解を得てさまざまな福祉活動を展開するものです。

街頭募金のご報告

10/1にキョーエイ鳴門駅前店様、マルナカパワーシティ鳴門店様のご協力により、店頭で街頭
募金運動を実施させていただきました。鳴門市支部委員をはじめ、鳴門市議会議員の皆様にも活動
していただき、募金額の合計は26,105円でした。

ご協力いただいた多くの皆様方にお礼申し上げます。

キョーエイ鳴門駅前店様

13,861 円

マルナカパワーシティ鳴門店様

12,244 円

善意銀行にご協力をお願いします

皆さまの温かい善意が、福祉のまちづくりに活かされています。

善意銀行とは、市民の皆様の“善意の金銭や物品”を預託（寄付）していただき、それらを必要とす
る方や施設・団体などに払出し（活用）させていただき、みんなが幸せになれる福祉のまちづくりを推
進するための銀行です。地域の団体のおまつりやバザーでの収益金の一部、冠婚葬祭でのお祝いやお悔
やみの一部と様々な形でご寄付いただいております。事前にボランティアセンターにご相談ください。

今後も皆さまの善意を地域福祉の推進に活かしていくため、ご協力をお願いいたします。